



バンコク便り



1. はじめに

バンコクは雨期に入ってからほぼ毎日雨が降っており、昨年に比べると非常に雨量が多いのですが、ローカルのニュース等によれば、タイ北部の農業地域では昨年に引続き水不足による農作物への影響が心配されているとの事です。今回のバンコク便りは6月バンコクで実施された東根市さくらんぼプロモーションを中心にお送りします。

2. 6月東根さくらんぼプロモーション関連

6月15日～19日の日程で東根市一団がさくらんぼプロモーションの為来タイされました。昨年東根市長を団長に、在タイ日本大使館公邸にて初めてさくらんぼをアピールするレセプションを開催したのを契機として、今回はタイ輸出の商流本格化させるべく、タイ現地バイヤー等との面談及びバンコク中心地の有名百貨店数箇所にて店頭販売を実施する事が主なミッションでした。

6月16～17日：タイバイヤー他主要先訪問…タイ日本大使館、JETRO バンコク、カシコン銀行、MALL グループ、ツルハタイランド他

6月18～19日：店頭販売プロモーション…サイアムパラゴン、セントラルチットロム、エムクオーティエ、エンポリアム、伊勢丹（※下線の店舗は一団手分けして店頭販売参加）

※MALL グループは上記に挙げた有名百貨店（サイアムパラゴン、エムクオーティエ、エンポリアム）等を所有するセントラルグループと並んでタイ最大の小売グループ

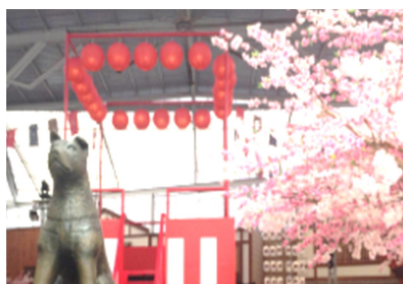
ツルハタイランド：タイのツルハではこれ迄も焼き芋や苺の店頭販売の実績有り、さくらんぼについても是非店頭販売したいとの話になり、6月24日～26日で実施される事となりました（別途下記掲載）。

その他の訪問先についても反応としては上々であり、今後商流本格化していくにつれ更に広がり期待出来る反面、タイにおいて日本産さくらんぼの知名度は未だ低い状況下、他県のさくらんぼも進出してきており、品質については国内以上に注意が必要と感じました。まずは今回第一弾として佐藤錦 100 kg、追加で佐藤錦 100 kg が6月中タイ入荷され、7月には紅秀峰も 80 kgほど入荷される事となり、商流本格化初年度としては相応に評価いただける数量であったと思います。



3. 秋田県観光インバウンドプロモーションサポート

6月25～28日にショッピングモールのパセオにおいて秋田県観光PRプロモーションが開催。フィデアグループとして小職もお手伝いに行ってきました。きりたんぼや地酒を振舞う中、なまはげ太鼓も披露されると見物客から歓声が起こる等大盛況でした。夕方からの晩餐会には招待客約70名が参加し、こちらも盛況でした。



【本件に関する連絡先】

海外業務部 石井、軽部、 023-626-9050

バンコク駐在（カシコン銀行ジャパンデスクトレーニー）山岡 +66-(0)9-2249-1176